

おごせ教育 Pick up

越生小学校

4月28日(木)に避難訓練を行いました。学年が変わって初めての避難訓練でしたが、どの学年も落ち着いて素早く校舎の外へ避難することができました。日頃から災害に備えておくことが大切だと再確認できました。



梅園小学校

4月22日(金)は、全校なかよし遠足に出かけました。高学年を中心に8つの縦割り班に分かれ、「弘法山」と「上谷農村公園」を巡りました。入学したばかりの1年生も一生懸命よく歩き、公園では班を中心にみんなで楽しく遊ぶことができました。



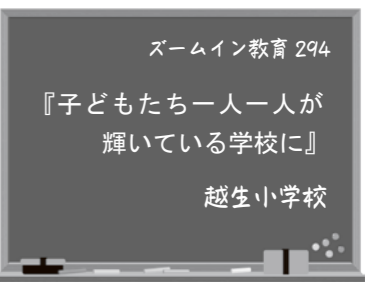
越生中学校

4月26日(火)に1年生が部活動に本入部しました。中学校生活の中で自分自身を大きく成長させることができる部活動! 3年間一生懸命に頑張り、多くのことを学びましょう!!



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



本校は明治六年の開校以来、今年で百四十九年を迎えます。本年度も全教職員が一丸となって、三百十名の児童一人一人が輝いている学校を目指し、日々の教育活動に取り組めます。

- 本校の学校教育目標
- すんで学び合う子
- 仲良く助け合う子
- 元気にやり抜く子

- ① 学ぶことを大切にしている子
新たな知識や技能を身に付けるとともに、他から学ぶ姿勢や気持ちをもてるようにします。
- ② 物を大切にしている子
本校は校内のトイレや外トイレが改修されたり、一人

③ 人を大切にしている子
相手のよさを見つけ、それを尊重し、認めることが大事です。その第一歩として、しっかりと「あいさつ」ができるようにします。

④ 命を大切にしている子
自身の健康や安全に関心をもち、自分の命は自分で守る高い意識をもてるようにします。

⑤ 郷土を大切にしている子
郷土に関する学習を通じて、その知識を得るだけでなく、郷土への誇りをもち、将来は越生町のために貢献しようとする気持ちを児童がもてるようになります。本年度もどうぞよろしくお願ひします。



▲郷土に関する学習の様子 (3年生梅もぎ体験)

越生浪漫 No.160

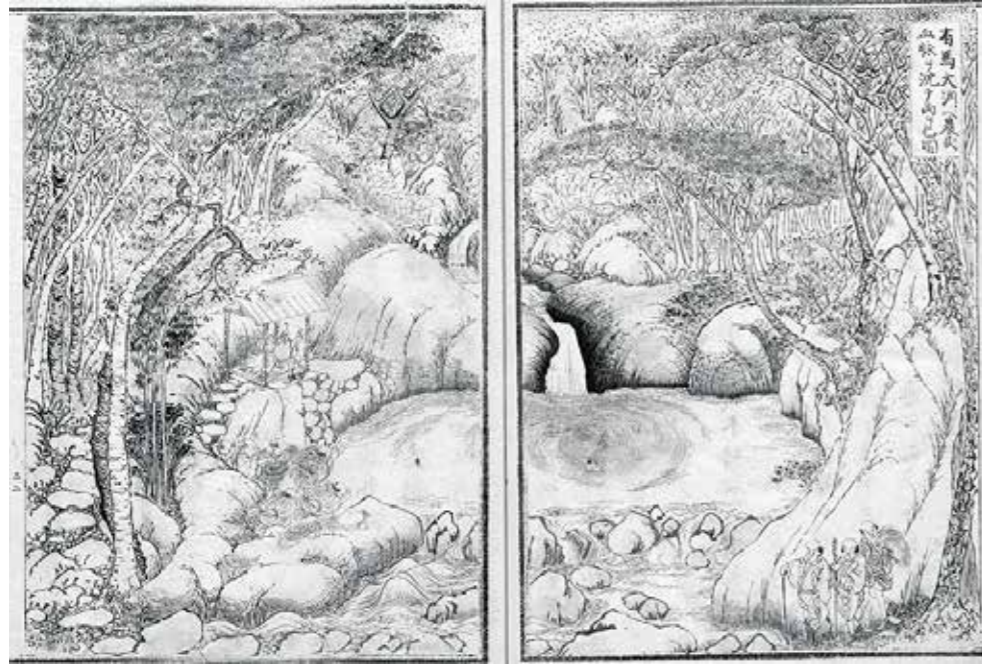
越生の龍伝説

龍ヶ谷の龍

当町の大字龍ヶ谷は、江戸時代の地誌(『新編武蔵風土記稿』)以下『風土記稿』(『)に「當所ノ内ニ古ヘ深淵アリテ、其所ニ年久シク龍ヒソミケルヲ、龍穩寺第五世ノ僧雲崗が祈誓ニヨリテ、カノ龍升天シ、其迹變遷シテ尋常ノ平地トナリシカバ、農民等ソコヲ新開セシ地ナルニヨリ」と記されています。

龍穩寺にも、五世雲崗和尚が悪龍の去った場所に伽藍を建立したという縁起がこのころ、龍が棲まう土地でした。

龍穩寺の前にあった大きな湖に棲む龍は、龍泉寺(現飯能市下名栗)から手伝いに来ていた小僧の、病気で苦しむ和尚の面倒を見に行きたいという切実な思いに同情し、自らの背中に乗せて名栗と龍ヶ



「有馬大淵へ農民血脈ヲ沈テ雨ヲ乞フ圖」(『新編武蔵風土記稿』「有馬淵」の挿絵) 国立公文書館デジタルアーカイブ

で行き、龍泉寺の雨乞い神となりました(神山弘『ものごと奥武蔵』)。
有馬谷の大淵
今も、龍泉寺の裏、有間(有馬)の雨乞い、かつて「龍ヶ谷」の雨乞い、龍泉寺の僧が雨乞いの儀式を行えば、どんな旱年でも雨が降り、これを伝え聞いて近郷だけでなく30里遠くから尋ね来る人がある」と書かれている通り、昭和39年に終わりを告げるまで長きに渡って続けられました。

龍伝説あれこれ
こんな伝承もあります。龍ヶ谷に棲む雄龍は、有馬谷の雌龍に会いに行く途中に、高山(飯能市高山)の不動様に剣で切りつけられたため尾を切り落とされてしまいました。怒った雄龍は高山へ大雨を降らせますが、これが龍ヶ谷にも降り注ぎ、湖の堤防が切れて越生の村を大洪水が襲いました。その後、龍の尾が流れ着いた場所「尾崎(大字西和田)の小



越上沢(越辺川の源流)の龍淵

字)に「龍台寺」が、青い龍の胴体が横たわっていた所に「青龍山最勝寺」が建立されたといえます(鳩山町・鳩山町中央公民館『越辺川』その流域の変遷と自然)。
当町の大字黒山にも、龍神が棲むという「龍淵(龍ヶ谷・藤淵)」があり、かつては雨乞いも行われていました。淵をかき回して龍神を怒らせ、雨乞塚(現顔振峠見晴台)の山頂で焚き火の周りを回りながら「有馬山の龍タツ坊これへかかれ黒雲ザンザと降ってくれ」と呪文を唱えたそうです(黒山区『黒山史話』)。